

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人たんぽぽ福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム たんぽぽ加茂の里)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 9 月 1 日	10	平成 30 年 9 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「眠り SCAN」導入により、見守り業務（特に夜間の覚醒・睡眠・起居・離床）の効率化と介護従事者の業務負担軽減を図る。</p> <p>【導入スケジュール】 交付決定後、発注・導入を行い、機器使用に関する勉強会（9月上旬）の開催。 9月中旬より運用を開始。 毎月、事故予防対策委員会にて経過報告。</p>			
<p>【倫理面への配慮】 入所者もしくは、家族に対し見守り支援システム使用について、目的や効果等に関する説明を行い、同意を得たうえで使用。 取得した情報については厳重に管理する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処） 入所者の状況（睡眠や動作、呼吸状態等のバイタルなどの変化）をリアルタイムで把握する事により、転倒転落等の事故予防や異常時の対応体制の強化を図る。 特に夜間の介護従事者の心理的・身体的な業務負担を軽減することを目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】 入所者の就寝時の転倒、転落等の事故予防や徘徊予防、夜間行動の把握。 バイタルや睡眠状況の把握し、ケアプランの見直しや機能向上や回復効果に繋がる生活リズムの作成。 夜間の見守り時も介護従事者の精神的・心理的・身体的な負担の軽減に期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	3台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

平成30年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

当施設ではすでに本機器の導入を行っているため、説明は逐一行っておりませんが、本年度もご家族が集まれる場面(家族会)等で使用の方法や使用した成果等について報告を行います。

対象者個々に対しては、ケアカンファレンス等で本機器を使用することや、使用した結果、使用することで得られたデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・看取り期に入った対象者への活用を推進し、当該期の対象者の家族への適切な情報提供や、刻一刻と変化する当該期の適切なケア方法の実践につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における、職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘短期入所生活介護)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	1台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当該助成金採択後に速やかに諸手続きを経た上で、当該施設への導入を図ります。また同時に使用対象者、ならびにそのご家族への説明を行った上で、速やかに使用を開始します。

平成30年9月1日導入(予定)日に、本機器の使用に関わる職員に対して、改めて使用に関する説明を行い、即日中に本機器の使用を開始します。

また導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果等の評価を行い、必要に応じて使用に関わる職員と使用方法の見直しや検討を図ります。

【倫理面への配慮】

在宅での生活リズムが不安定な方に対しては、対象者、またはそのご家族に本機器の使用の提案を事前に行い、使用後に得られたデータ、そのデータに基づいたケアの展開方法等を丁寧に説明いたします。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・対象者の動作の状態(覚醒・睡眠・起居・離床、心拍数等)を、ICT機器にリアルタイムで転送されたデータをもとに、対象者の詳細な生活リズムや身体状況の把握に努め、それによって職員の業務負担軽減や対象者の転倒転落のリスク軽減につなげる。
- ・看取り期に入った対象者への活用を推進し、当該期の対象者の家族への適切な情報提供や、刻一刻と変化する当該期の適切なケア方法の実践につなげる。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・対象者のベッドからの転落リスクのマネジメント。
- ・詳細な睡眠リスクの把握等による個別ケアの充実。
- ・職員の見守り業務の負担軽減。
- ・早朝や夜間等の配置人員が減少する時間帯における職員の精神的、身体的ストレスの軽減。
- ・対象者家族に対するより詳細な生活データの開示。
- ・睡眠・覚醒のデータ提供を介護者に行うことによる在宅生活の質の改善の提案。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人ケアマキス)
 事業所名 (ショートステイケアマキス柴田)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		眠り scan		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 9月 1日	1	30年 9月 1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 利用者の睡眠状況を把握し、夜間の巡視や排泄介助などの介護サービスを生活や行動に合わせて提供していくことを目指す。</p> <p>導入スケジュール 平成30年4月24日デモ機導入 平成30年5月9日デモ機返却 平成30年6月20日導入実績のある他施設へ見学 平成30年9月眠り scan 導入 (予定) 平成30年9月実績報告提出 (予定) 平成31年4月導入効果報告1回目 (予定) 平成32年4月導入効果報告2回目 (予定)</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>1 モニターに表示される画像は本人の動作のみなので、個性を認識できないように配慮した仕様になっている。</p> <p>2 非接触・無拘束の見守りシステムなので、利用者に身体的・精神的拘束感を与えない。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者の睡眠状態を把握し、介護サービスの質を向上させる。夜間時の無駄な訪室を減らすことでスタッフの業務負担を軽減させる。(約30%の夜間訪室減少)</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>睡眠の状況に合わせた居室訪問、オムツ交換などの身体介護の提供</p>				

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	4	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減する。
 2018 年 10 月頃：購入、10 月上旬：使用説明会、10 月中旬：使用開始
 導入 3 ヶ月後：フォローアップ講習会
 毎月サービス向上委員会にて経過報告

【倫理面への配慮】

入居者様もしくはご家族にシステムの使用目的について説明し、書面にて同意を得た上で導入。
 取得した情報は厳重に管理する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3 年間目処)

入居者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで見守り業務
 を見える化する。科学的根拠に基づいた問題の把握・立案を行い、日常の生活リズムを作ることで、
 特に夜間介護従事者の業務負担を軽減することを目標とする。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

入居者の睡眠の深さや覚醒状態を端末で把握できるため、これまでスタッフの経験値や予測のもと
 に行っていた介護アプローチが、科学的なデータに基づくアプローチとなる。これにより、不安定な
 睡眠状態の入居者の覚醒時間への対応をケアプランから見直し、生活リズムを作ることで、認知症高
 齢者の問題行動軽減に繋がる。また、夜間巡回業務における、肉体的・精神的負担の軽減が期待され
 る。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)

事業所名 (介護老人福祉施設いわと)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		メーティスPRO (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年10月1日	1台	平成30年10月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>離床CATCHⅢ内臓のベッド「メーティスPRO」を導入し、特に夜間ベッドからのずり落ち、転落の多い入居者に使用し、夜間帯の入居者の方の転落・転倒事故防止と見守りの効率化を図る。</p> <p>平成30年7月申請 平成30年10月導入</p>			
【倫理面への配慮】			
使用する入居者本人及びそのご家族のシステム使用についての説明と同意を得た上で使用する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<p>ベッドからの転落・転倒事故の減少 介護職員の身体的・精神的負担の軽減</p>			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<p>離床CATCHⅢは、利用する入居者の状態に合わせた通知タイミング(起き上がり、端座位、離床)が設定できるため、その方に合わせたより正確なナースコールによる呼び出しが可能になるため、転倒・転落防止の効果が期待できる。</p> <p>利用する入居者の状態に合わせてナースコール設定できるので、頻回なナースコールや誤コールなどが軽減でき、介護職員の身体的・心理的負担の軽減が期待できる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (デイパーク大府短期入所事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年12月1日	2	H30年12月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 事業概要 「見守りケアシステム M1」の導入により見守り業務の補助、効率化をはかり、業務負担の軽減を図ります。また利用者様の安全をより確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。 導入スケジュール 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。 <p style="text-align: right;">静養室に使用</p>			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し、ロボット導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで、利用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転落、転倒事故の防止や減少 ② センサー誤報による駆け付け頻度の減少 ③ ナースコール等利用できない方への事故予防			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① ご利用者の転落転倒事故の削減 ② 誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減をはかり、介護負担の減少 ③ 生活リズムの把握により、適切なケアの充実 ④ 配置人員が減少する場面において職員の精神的、身体的ストレスの軽減 ⑤ ご利用者の安全確保			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (第一老人デイサービスセンターデイパーク大府)
 サービス種別 (通所介護事業所)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年12月1日	2	H30年12月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 事業概要 辞表で使用する 「見守りケアシステム M1」の導入により見守り業務の補助、効率化をはかり、業務負担の軽減を図ります。また利用者様の安全をより確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。 導入スケジュール 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し、ロボット導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで、利用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転落、転倒事故の防止や減少 ② センサー誤報による駆け付け頻度の減少 ③ ナースコール等利用できない方への事故予防			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① ご利用者の転落転倒事故の削減 ② 誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減をはかり、介護負担の減少 ③ 生活リズムの把握により、適切なケアの充実 ④ 職員の精神的、身体的ストレスの軽減 ⑤ ご利用者の安全確保			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 長福会)

事業所名 (第二老人デイサービスセンターディパーク大府)

サービス種別 (通所介護事業所)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年12月1日	2	H30年12月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
事業概要 静養室にて使用 「見守りケアシステム M1」の導入により見守り業務の補助、効率化をはかり、業務負担の軽減を図ります。また利用者様の安全をより確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。			
導入スケジュール 当該助成金の採択後、諸手続きを経て、導入を図り、使用対象者に説明をし、使用を開始していきます。			
【倫理面への配慮】 ご利用者及びご家族に対し、ロボット導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで、利用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 転落、転倒事故の防止や減少 ② センサー誤報による駆け付け頻度の減少 ③ ナースコール等利用できない方への事故予防			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① ご利用者の転落転倒事故の削減 ② 誤報が少ないセンサーの利用により、介護労働力の削減をはかり、介護負担の減少 ③ 生活リズムの把握により、適切なケアの充実 ④ 職員の精神的、身体的ストレスの軽減 ⑤ ご利用者の安全確保			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド)	
導入時期 (予定)	導入台 (セット) 数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 10月 1日	8台	30年 10月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>ベッド更新に合わせて離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯を中心に介護職員等による入居者の方の転倒・転落事故防止と見守り業務の効率化・負担軽減を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年9月注文 (予定) 平成30年10月導入・運用開始 (予定)</p>			
【倫理面への配慮】			
<p>当該製品を使用する入居者及び家族に対して、使用前に当該製品の説明を十分に行い、理解を得た上で使用を開始する。</p>			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の転倒・転落事故の軽減 ・介護職員等の身体的・精神的負担軽減 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状態に応じたセンサー設定 (起き上がり・端座位・離床) ができ、ナースコールによる呼び出しが可能なので、入居者の転倒・転落リスク軽減が図れる。 ・特に夜間等職員配置数が少ない場面で、介護職員の身体的・精神的な負担軽減が図れる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人愛生館)

事業所名 (老人保健施設ひまわり)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 31 日	4 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「眠り SCAN」の導入により、見守り業務（特に夜間）の効率化と看護介護職員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【導入スケジュール】 補助金交付決定後、速やかに導入する（平成 30 年 10 月導入予定）</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者及びご家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解をいただいた上で適切に使用する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>昨年度、4 台を試行的に導入し、一定の効果が得られたため、さらに台数を増やし、入所者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）の変化や呼吸数等のバイタルを把握し、転倒転落の事故防止および異常時の対応体制の強化をさらに図る。特に夜間の見守り時の看護介護職員の心理的・身体的な負担軽減を引き続き図る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①台数を増やすことにより、②③の効果をさらに高めることできる。</p> <p>②ベッド上での睡眠・覚醒・起き上がり・離床行動が早期に把握できるため、転倒・転落事故を未然に防ぐことができる。</p> <p>③心拍呼吸数・睡眠状態を把握できるので、夜間の見守り時の看護介護職員の心理的・身体的な負担軽減となる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 清明福社会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハラー)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年11月1日	4台	平成30年11月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 「見守りケアシステムM2」を導入する事で利用者の動きを検知し、ベッドからの転倒、転落予防に努めると共に見守り業務の補助、効率化を図り、業務負担の軽減を図ります。</p> <p>【導入スケジュール】 平成30年11月 機器導入 平成30年11月 機器使用方法 説明会 実施 以降、各年度毎に使用状況を報告 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>			
<p>【倫理面への配慮】 通常のベッドと全く同等品として取り扱う事が可能です。センサーベッドを導入する事で、御利用者本人への身体的、精神的拘束感を与える事はありません。 御利用者及び御家族に対し、見守りベッドの導入、システム等に対して説明を行い、同意を得た上で、使用を行います。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転倒、転落事故の減少：2割削減</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 利用者に対する転倒、転落事故の削減 (御利用者に合わせてセンサーモードを使い分ける事で転倒、転落の危険性を軽減するほか、認知症の方の徘徊による事故予防に努める)</p> <p>② 生活リズムの把握により、個別ケアの充実を図る。</p> <p>③ 誤報が少ないセンサーを使用する事で、介護労力の削減を図り、介護負担の軽減を図る。</p> <p>④ 配置人員が減少する場面で職員の精神的、身体的ストレスの軽減を図る。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステムM2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年9月1日	2台	30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>特別養護老人ホーム利用者の生活の質を確保するため、様々な介護サービスを提供すべく、見守り業務の補助及び効率化を図ることで入所者及び職員の負担軽減を図る。</p> <p>平成30年7月 機器設置事前調査 9月 機器導入、機器使用法説明会実施 導入～平成31年3月 評価及び改善</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であり、利用者に対して身体的・精神的苦痛を与えることなく、プライバシーなど十分考慮したうえで、施設利用者及び家族に説明を行い、了承を得たうえで対応する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>① 転倒及び転落事故の減少 ② センサー誤報による職員駆けつけ回数の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 施設利用者の転倒及び転落事故削減、並びに安心感の向上。 ② 駆けつけ回数減少に伴う職員の身体的負担軽減並びに処遇改善。 ③ リクルート効果</p> <p>当施設ではこれまで様々な介護ロボットを活用して、職員の業務負担を軽減し、かつ利用者へのサービス提供に役立っている。他施設との差別化を図ることで離職率の低減効果が期待される。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊水園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守りケアシステムM2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年9月1日	2台	平成30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要：転倒リスクの高い利用者様に活用することにより、個別に合わせた離床予知センサーをナースコールに連動させることで迅速な対応をすることでき、転倒事故を防ぐ事に役立つ。特に、少ない人員で対応する夜間ではリスク低減に大きな役割を果たすことが見込まれる。また、低床に設定できることで端座位の安定を図ることができる。</p> <p>導入スケジュール：平成30年8月中旬 低床3モーターベッド2台購入 平成30年9月1日 運用スタート</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>上記システム使用前に利用者様及びご家族に対し、使用目的の同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>① 離床予知センサーにより、転倒・転落事故を軽減する。 ② 夜間帯の睡眠状態を把握し、健康管理や徘徊などのリスク軽減に役立つ。 ③ 夜勤職員の業務効率が上がり、業務量軽減に繋げる。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① 離床センサーがナースコールに連動されることで迅速かつ正確に対応することができる。 ② 転倒リスクが高い方や夜間行動に課題のある方に活用することで介護事故の軽減や認知症の症状に対してのケアに役立つことができる。 ③ ①②により、夜間職員の業務効率が上がり、業務量軽減や他利用者への関りが増える。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 名古屋ライトハウス)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 瀬古第一マザー園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド(KA-N 1710F) (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	6	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドの老朽化に伴う更新に合わせ、ベッド内蔵型離床センサー・離床 CATCHIIIを搭載した「エスパシアシリーズベッド(KA-N 1710F)」を導入し、特に夜間帯の利用者の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>平成 30 年 9 月 機器設置事前調査 10 月 機器導入、機器使用方法の説明会開催 平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月(評価及び改善)</p>			
<p>【倫理面への配慮】 通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であるが、使用する利用者とそのご家族に説明を行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 現在、使用しているセンサーマットや足元センサーでは誤報を多く、介護職員の負担となっているとともに、同時に鳴った時に間に合わず、夜間の転倒事故も年々増加傾向にある。導入後は、的確に利用者の状況を把握し、転倒・転落事故の削減による介護サービスの質の向上を目的とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者の状態に合わせたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、正確性の高いナースコールの呼び出しが可能となるため、転倒・転落事故の防止が期待される。 ②転倒・転落事故の減少により、利用者利用者家族からの満足度の向上が期待できる。 ③職員配置数の少ない夜間帯に必要なナースコールしか鳴らないことにより、介護職員の精神的・心理的負担の軽減が期待できる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 王寿會)

事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
平成 30 年 10 月 1 日	3 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで	
【事業概要及び導入スケジュール】				
<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・平成 30 年 9 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで平成 30 年 10 月 1 日より使用開始を図る。 				
【倫理面への配慮】				
<ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に、使用する経緯・使用する介護機器の説明を行い同意をして頂いてから使用を行う。 				
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)				
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・看取りケア時のバイタル把握を迅速に行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 				
【介護ロボット導入により期待される効果等】				
<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・覚醒のリズムを把握することによる、個別ケアの充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・看取り期の早期バイタル把握(レベル低下や呼吸停止等) 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (グループホームあおぞら)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
平成 30 年 10 月 1 日	2 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金決定後に、速やかに諸手続きを行い導入を図る。 ・平成 30 年 9 月中に、導入機器の使用に関する研修会を開催して使用方法や使用目的の周知徹底を行ったうえで平成 30 年 10 月 1 日より使用開始を図る。 				
<p>【倫理面への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用予定入居者様及びご家族様に、使用する経緯・使用する介護機器の説明を行い同意をして頂いてから使用を行う。 				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況(睡眠・覚醒・起居・離床等)の把握を行い、個別の生活リズムに合わせたケアの実践を行っていく。転倒・転落の事故リスクの軽減に繋げる。 ・看取りケア時のバイタル把握を迅速に行い、ご家族様への情報連絡へ繋げる。 				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・覚醒のリズムを把握することによる、個別ケアの充実。 ・入居者様の転倒・転落のリスク軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・看取り期の早期バイタル把握(レベル低下や呼吸停止等) 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人瀬戸中央会)

事業所名 (特別養護老人ホームつばき)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット aams	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 11月 15日	2セット	30年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 入居者様の転倒事故を未然に防ぎ、安心安全な生活を送って頂ける為のツールとして活用すること及び、職員が手薄になる夜間帯の負担軽減を目的とする。</p> <p>【スケジュール】 平成 30 年 10 月 31 日 環境整備 平成 30 年 11 月 10 日 導入前研修 平成 30 年 11 月 15 日 導入開始</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者様への接触もなく、緊急時への事故防止時にのみ対応 センサーの利用によりプライバシーや人権を尊重することが可能</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>入居者様の転倒を未然に防ぐこと・訪室を減らし入居者の眠りの質を高める 夜間における介護業務の負担軽減を図る</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>心拍・呼吸数・睡眠状態等が把握できることにより、転落・転倒を未然に防ぐことができる 排泄や身体異常を早期把握できることにより、特に夜間帯における介護職員の負担軽減につながる</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人葆光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド	
導入時期 (予定)	導入台(セット) 数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年11月1日	8	H30年11月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 見守りケアシステム導入により、見守り業務の身体的負担軽減、介護職員の精神的負担軽減を図り、且つ介護事故の発生を未然に防ぐ。</p> <p>導入スケジュール 当該助成金の採択後速やかに諸手続を経て導入を図り、使用対象者に対する説明を行った上で使用を開始します。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご利用者及びご家族に対して、導入する介護機器の説明を行い、同意を得たうえで使用します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>見守り業務の効率化を図り介護職員の業務負担を軽減すること。 また、効率的且つ効果的な見守り業務を徹底し転倒転落に関する事故発生件数を導入前よりも減少させること。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① ご利用者のベッドからの転落のリスク等の軽減 ② 介護職員の見守り業務の身体的、精神的負担軽減 ③ 人員配置が減少する時間帯に於いてのリスク管理 ④ 介護職員の負担軽減による職場環境整備の改善</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 鉄友会)

事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	6台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

当機器の導入にて、夜間帯の見守り業務の効率化、設置利用者の睡眠行動の把握を行い、職員の心理的・身体的負担軽減を図る。

導入スケジュール

平成30年7月申請、8月上旬から中旬デモンストレーション及び職員への周知、同月中旬から下旬において、利用者等に説明、9月導入

【倫理面への配慮】

機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。また、職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・利用者様の睡眠リズムの把握
- ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える
- ・転倒や転落リスクの軽減
- ・職員の心理的、身体的負担軽減

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	10台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当機器の導入にて、夜間帯の見守り業務の効率化、設置利用者の睡眠行動の把握を行い、職員の心理的・身体的負担軽減を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請、8月上旬から中旬デモンストレーション及び職員への周知、同月中旬から下旬において、利用者等に説明、9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。また、職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の睡眠リズムの把握 ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える ・転倒や転落リスクの軽減 ・職員の心理的、身体的負担軽減 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 9月 1日	10台	30年 9月 1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当機器の導入にて、夜間帯の見守り業務の効率化、設置利用者の睡眠行動の把握を行い、職員の心理的・身体的負担軽減を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請、8月上旬から中旬デモンストレーション及び職員への周知、同月中旬から下旬において、利用者等に説明、9月導入</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者の睡眠や動作、呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。また、職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の睡眠リズムの把握 ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える ・転倒や転落リスクの軽減 ・職員の心理的、身体的負担軽減 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホーム巴の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2018年10月20日	8	2018年10月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「見守りライフ」の導入により、ベッド上の利用者の動き（動き出し・起き上がり・端座位）を判断し適切なタイミングでナースコールを発報します。適切なタイミングで見守り業務が行えるため、入居者の転倒・転落を低減します。</p> <p>【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、見守りライフの導入を図り、使用説明会を行った後、運用開始します。 (概算予定スケジュール) 2018年10月 見守りライフ導入及び使用説明会を実施した後、運用開始。 ※運用開始後、必要に応じて、随時使用方法等の説明会を実施予定。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>「見守りライフ」使用前に、入居者及びご家族に対して使用目的を説明し、同意を得た上で、使用します。また、介護ベッドの脚にセンサを設置するため、入居者に対して身体拘束・精神的な苦痛を与えることはありません。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>従来型のマットセンサ等で転倒・転落が防ぎきれなかった方に対して、転倒・転落事故（インシデント含む）の低減（20%目標）を図ることにより、介護サービスの向上を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>入居者の動きを早期に把握し、適切な対応を行うことで以下の効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の転倒、転落を予防する ・見守りライフによる見守り対象者以外の入居者の見守りを強化する ・夜勤時間帯等、対応職員が少ない時間帯にも効率的に業務を行う ・夜間の入居者への過度な干渉を減らし、睡眠環境を改善する 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム石野の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2018年10月20日	2	2018年10月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 「見守りライフ」の導入により、ベッド上の利用者の動き（動き出し・起き上がり・端座位）を判断し適切なタイミングでナースコールを発報します。適切なタイミングで見守り業務が行えるため、入居者の転倒・転落を低減します。</p> <p>【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、見守りライフの導入を図り、使用説明会を行った後、運用開始します。 (概算予定スケジュール) 2018年10月 見守りライフ導入及び使用説明会を実施した後、運用開始。 ※運用開始後、必要に応じて、随時使用方法等の説明会を実施予定。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>「見守りライフ」使用前に、入居者及びご家族に対して使用目的を説明し、同意を得た上で、使用します。また、介護ベッドの脚にセンサを設置するため、入居者に対して身体拘束・精神的な苦痛を与えることはありません。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>従来型のマットセンサ等で転倒・転落が防ぎきれなかった方に対して、転倒・転落事故（インシデント含む）の低減（20%目標）を図ることにより、介護サービスの向上を目標とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>入居者の動きを早期に把握し、適切な対応を行うことで以下の効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の転倒、転落を予防する ・見守りライフによる見守り対象者以外の入居者の見守りを強化する ・夜勤時間帯等、対応職員が少ない時間帯にも効率的に業務を行う ・夜間の入居者への過度な干渉を減らし、睡眠環境を改善する 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会医療法人財団新和会)
 事業所名 (介護老人保健施設さとまち)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 9 月 1 日	9 台	平成 30 年 9 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>利用者様の睡眠リズムを把握することで、個々のリズムに合わせた排泄介助による安眠時間の確保、半覚醒状態による転倒リスクの軽減を図る。これにより不要な排泄介助業務軽減と、転倒リスク軽減による職員のストレス軽減を図ることも可能となる。</p> <p>合わせて、科学的根拠に基づいて、在宅復帰者や短期療養利用者の家族に対する排泄介助指導も行え、且つ科学的な介護に取り組む姿勢が、職員の定着、離職率の低下にも繋がると考える。</p>			
【導入スケジュール】			
平成 30 年 7 月中に Wifi 環境の整備。9 月初旬に購入とともに職員に対する使用説明会開催。9 月中旬までに使用対象者の選定と対象者への説明および同意。9 月下旬より本格運用開始。			
【倫理面への配慮】			
当該システムの使用目的、効果、安全性、データの活用範囲等について対象者及びそのご家族へ説明を行い、同意を得た上で使用開始する。また、取得情報については厳重に管理する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<ul style="list-style-type: none"> 対象利用者様の睡眠リズム把握により、利用者様の睡眠効率 5%以上増加。 介護職員の夜間介助業務の心理的負担軽減度 50%以上。 睡眠時間とリハビリの効果や在宅復帰との関連性の検証で学会発表 1 本/年 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の睡眠パターンの把握と、排泄介助の適正化による利用者の安眠時間の増加 目視できない見守りシステム導入による、利用者様の心理的負担の軽減。 睡眠パターンの把握による、夜間の巡視やおむつ交換の効率化。 夜間の排泄介助リズムの把握を退所前指導に活用し、退所後の家族負担軽減。 呼吸リズムの把握による、通常期(ターミナル期)の体調変化の早期発見と対応。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 西口整形外科)
 事業所名 (介護老人保健施設 千音寺)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
平成30年9月1日	8	平成30年9月1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>[事業概要] 見守り支援システム「眠り SCAN」を使用する事により、就寝に関する情報（覚醒・睡眠・起床・離床）を可視化しベッドからの転倒や転落の予防につなげ、更に睡眠情報を分析することにより、入所者の睡眠リズムや生活リズムの把握を行い個別ケアへの取り組みを促進すると共に訪室のタイミングを工夫し夜間の安眠確保・夜間の見守り業務の負担軽減を図る。</p> <p>[導入スケジュール] 7月下旬頃に、本機器に携わる職員に向けて、使用方法の説明（勉強会）の実施。 導入し運用後にも随時フォローアップ研修の実施。Wi-Fi環境の整備を行い、環境が整い次第導入。</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入所者及び家族に対して、上記機器の使用についての目的等の説明を実施し理解を得る。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>就寝に関する情報（覚醒・睡眠・起床・離床）を可視化し得た情報を分析する事により、個別の睡眠リズムに合わせた個別ケアをしていくと共に、特に夜勤職員の業務を効率化させ、負担の軽減。</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者一人一人の睡眠リズム、生活リズムに合わせた個別ケアの充実。 ・ベッドからの転落のリスクの軽減。 ・心拍数や呼吸数の把握による、急変の早期発見。 ・夜間・早朝の介護職員の業務負担を図り、落ち着いた安全な介護の実現。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (グループホーム千音寺)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年9月1日	2	平成30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>[事業概要] 見守り支援システム「眠り SCAN」を使用する事により、就寝に関する情報（覚醒・睡眠・起床・離床）を可視化しベッドからの転倒や転落の予防につなげ、更に睡眠情報を分析することにより、入居者の睡眠リズムや生活リズムの把握を行い個別ケアへの取り組みを促進すると共に訪室のタイミングを工夫し夜間の安眠確保・夜間の見守り業務の負担軽減を図る。</p> <p>[導入スケジュール] 7月下旬頃に、本機器に携わる職員に向けて、使用方法の説明（勉強会）の実施。導入し運用後も随時フォローアップ研修の実施。Wi-Fi環境の整備を行い、環境が整い次第導入。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者及び家族に対して、上記機器の使用についての目的等の説明を実施し理解を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>就寝に関する情報（覚醒・睡眠・起床・離床）を可視化し得た情報を分析する事により、個別の睡眠リズムに合わせた個別ケアをしていくと共に、特に夜勤職員の業務を効率化させ、負担の軽減。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人一人の睡眠リズム、生活リズムに合わせた個別ケアの充実。 ・ベッドからの転落のリスクの軽減。 ・心拍数や呼吸数の把握による、急変の早期発見。 ・夜間・早朝の介護職員の業務負担を図り、落ち着いた安全な介護の実現。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（社会福祉法人和敬会　　）

事業所名（なごみの郷ショートステイ）

サービス種別（短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	1 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、利用者の状況をリアルタイムで確認し、利用者の見守りの強化を図る。 ・導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。（平成 30 年 10 月導入予定） 			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者及び家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解いただいた上で適切に使用する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <p>利用者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）の変化や呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで、見守り業務が見える化し、スタッフの安心感向上と業務効率化並びに利用者の夜間の睡眠を妨げることのない介護を提供する。また、転倒や転落等の事故防止や異常時の対応強化を図る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）を早期に把握できるため、転倒や転落等の事故防止の効果が期待できる。 ・利用者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供することが期待できる。 ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減が期待できる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（社会福祉法人和敬会 ）
 事業所名（グループホームなごみの郷）
 サービス種別（認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	2 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

・事業概要

見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りの強化を図る。

・導入スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。（平成 30 年 10 月導入予定）

【倫理面への配慮】

入居者及び家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解いただいた上で適切に使用する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）

入居者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）の変化や呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで、見守り業務を見える化し、スタッフの安心感向上と業務効率化並びに入居者の夜間の睡眠を妨げることのない介護を提供する。また、転倒や転落等の事故防止や異常時の対応強化を図る。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・入居者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）を早期に把握できるため、転倒や転落等の事故防止の効果が期待できる。
- ・入居者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供することが期待できる。
- ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減が期待できる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人和敬会)
 事業所名 (特別養護老人ホームなごみの郷)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	3 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りの強化を図る。 ・導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。(平成 30 年 10 月導入予定) 			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>入居者及び家族へ機能と使用目的の説明を行い、ご理解いただいた上で適切に使用する。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)の変化や呼吸状態をリアルタイムでモニタリングし、データ化することで、見守り業務を見える化し、スタッフの安心感向上と業務効率化並びに入居者の夜間の睡眠を妨げることのない介護を提供する。また、転倒や転落等の事故防止や異常時の対応強化を図る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)を早期に把握できるため、転倒や転落等の事故防止の効果が期待できる。 ・入居者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供することが期待できる。 ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減が期待できる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 百陽会)
 事業所名 (特別養護老人ホームアルクオーレ岡崎六名)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		Dream Care	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
H30年9月10日	3台	H30年9月10日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守りシステムとして H30.8月中旬 施設内のWifi環境を整える予定 H30.8月末日 ご家族の同意書取得予定 H30.9月10日 設置及びテスト完了 H30.9月中旬 運用開始			
【倫理面への配慮】 ご利用者、ご家族への重要事項説明及び個人情報の取り扱いにおける同意。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) 見守りシステムを導入することによる、職員の夜間勤務のストレス値の低減。 事前にアンケートを職員から取得し、その効果測定を評価する。 離職率の低下目標 10%ダウン。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 見守りシステムを導入することによる、職員の夜間勤務のストレスの軽減による離職率の低減。また、利用者ご家族への安心感の向上			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (特別養護老人ホーム誠和荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年9月30日	8台	30年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
事業概要 「眠り SCAN」を導入することにより、夜間帯の見守り業務の効率化と介護職員の心理的負担軽減を図る。又利用者様の生活リズムを把握することにより、夜間の不眠による転倒等を減少する。			
導入スケジュール 平成30年8月 利用者様及びご家族の同意を得る。介護職員に機器の説明をする。 平成30年9月 「眠り SCAN」8台購入			
【倫理面への配慮】			
利用者様及びご家族に対して、導入する機器の説明を行い、同意を得た上で使用を開始します。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の夜間帯の動作を把握することにより、ベッドからの転落・転倒のリスクを軽減する。 ・ナースコールのコール回数が減ることにより、夜勤職員の心理的・身体的負担を軽減する。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の転落・転倒のリスク減少。 ・ご利用者様の安眠。 ・介護職員の業務量軽減。 ・夜勤職員のストレス軽減。 ・ご利用者様の夜間の睡眠情報をご家族に提供し、状況把握と家族の安心感につなげる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (誠和荘短期入所生活介護事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年9月30日	1台	30年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 「眠り SCAN」を導入することにより、夜間帯の見守り業務の効率化と介護職員の心理的負担軽減を図る。又利用者様の生活リズムを把握することにより、夜間の不眠による転倒等を減少する。</p> <p>導入スケジュール 平成 30 年 8 月 利用者様及びご家族の同意を得る。介護職員に機器の説明をする。 平成 30 年 9 月 「眠り SCAN」1 台購入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者様及びご家族に対して、導入する機器の説明を行い、同意を得た上で使用を開始します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の夜間帯の動作を把握することにより、ベッドからの転落・転倒のリスクを軽減する。 ・ナースコールのコール回数が減ることにより、夜勤職員の心理的・身体的負担を軽減する。 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の転落・転倒のリスク減少。 ・ご利用者様の安眠。 ・介護職員の業務量軽減。 ・夜勤職員のストレス軽減。 ・ご利用者様の夜間の睡眠情報をご家族に提供し、状況把握と家族の安心感につなげる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知慈恵会)
 事業所名 (特別養護老人ホームあいふるの里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年9月1日	3	平成30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドの更新に伴い、離床 CATCHIII内蔵のベッド「エスパシアシリーズ」を導入し、夜間帯におけるご利用者の転倒転落事故防止 及び 介護職員の夜間等見守り業務の負担軽減・業務効率化を図ります。</p> <p>平成30年7月申請 平成30年9月導入 (予定)</p>			
<p>【倫理面への配慮】 ご利用者 及び ご家族に対し、システムの使用目的について説明を行い、同意を得た上で導入します。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒転落事故の減少 ・介護職員の身体的・心理的負担の軽減 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のベッドからの転落リスクの軽減に繋がります。 ・内蔵された荷重センサーにより、正確な検知が可能になるため、センサー誤報による駆けつけが減少され、介護職員の見守り業務の負担軽減・ストレス軽減に繋がります。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 共愛会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊治共愛の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援ベッド (エスパ 3 モーター電動ベッド) パラマウントベッド(株) 製	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30 年 9 月 1 日	6 台	30 年 9 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

①事業概要 当該機器の導入により 見守り業務の効率化と介護職員の心身の負担軽減を図る。
 又 得られたデータを分析することで入居者様に適切な介護や安心して過ごせる環境を提供する。入居者家族への情報提供に活用し、施設生活の安心感や透明性を高める。

②導入スケジュール

1. 交付決定後、発注・導入を行い、スタッフを対象とした機器使用に関する研修会を開催する。
2. 対象入居者様・ご家族様に説明・同意を得た後、9月を目標とし、運用を開始する。
3. 入居者様の様子や職員の意見等を集約し、毎月の事故防止委員会にて見直し等 検討していく。

【倫理面への配慮】

・入居者様やそのご家族様に対し、導入機器の使用目的やその効果等を説明し、同意を得た上で使用する。また、得られたデータや情報については厳重に管理する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ① 入居者様の睡眠リズムを把握することで、転倒や転落などの事故防止に努め、事故発生を 削減する。
 - ② 夜勤職員のストレスおよび業務量の軽減を図り、離職を減らす。
- ※ 当施設はユニットケアの為、特に夜間帯での業務において職員が感じるプレッシャーやストレスが多く 離職の原因となっている。2ユニットを一人体制で対応せざるを得ない状況の中 職員の心身を守りたい。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ① 入居者様の睡眠の質の改善
- ② 転倒・転落等におけるヒヤリハットデータの収集、および事故の防止や軽減
- ③ 夜間帯での見守り業務の効率化による介護職員の精神的・身体的負担の軽減
- ④ 生活状況等の把握、ご家族様への報告等に活用することで安心感や透明化を図ることができる

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 福寿園)

事業所名 (特別養護老人ホーム ひまわり邸)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット a a m s	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 8月 30日	2	30年 8月 30日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

事業概要

見守り介護ロボット a a m s を導入し、転倒、転落事故の予防を図る。

これまでは詳細な把握が困難であった心拍、呼吸状況をリアルタイムに確認、記録することで、利用者の生活リズムを把握する。利用者個々への細かなケアの質向上と職員の負担軽減につなげる。

スケジュール

平成30年7月申請。交付決定の承認後、8月に使用方法の勉強会実施し導入する。
以降も、随時使用状況の確認と研修を行い、運用の適正化を図る。

【倫理面への配慮】

利用者に対して直接的な接触がない為、プライバシーの侵害への配慮
記録されたデータは個人情報としてその取扱いに注意する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

この見守りロボットを導入する事で、個々の利用者の睡眠リズムを把握し、転倒、転落事故を防止する

効率的な安否確認が可能となり、職員の精神的、肉体的ストレスが軽減する

【介護ロボット導入により期待される効果等】

利用者の急な体調変化が通知され、迅速な対応が可能になる。また、データとして記録される為、ご家族へも明確な報告が可能となる。

睡眠等の状態を記録確認することで、より質の高い個別ケアが実現できる。

モニターや通知での確認が出来る為、必要以上の訪室が減り、職員の負担軽減になる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人開生会)
 事業所名 (医療法人開生会老人保健施設ラベンダー)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット aams	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 8 月 30 日	10	平成 30 年 8 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<p>事業概要 見守り介護ロボット aams の導入により、転倒・転落事故の予防を図ると共に、生活リズム、生体情報を把握することで、ご利用者の QOL の維持・向上を図る。また、職員の業務負担軽減や効率化を図り、介護現場の魅力づくり、離職率の低下に繋げていく。</p> <p>スケジュール 平成 30 年 7 月に申請。交付決定の承認後、8 月に導入及び取扱説明会を実施し運用する。随時フォローアップ研修会を実施し、運用の適正化を図っていく。</p>			
【倫理面への配慮】			
<p>ご利用者への非接触・非拘束等の扱いの為、人権（尊厳）への配慮。 また、カメラ等の使用もないため、プライバシーの侵害への配慮。 使用に際しては、ご利用者及びご家族に対して使用目的の説明を行い、同意を得る。 蓄積されたデータの管理・取り扱いには厳重に注意していく。</p>			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）			
<ul style="list-style-type: none"> ・特に夜間の見守りが必要なご利用者の追加巡視回数を減らし、介護従事者の精神的・肉体的ストレスを軽減する。 ・ご利用者へのケアの質を上げると共に、転倒・転落事故の発生件数の減少を図る。 			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
<p>ご利用者の急な状態変化がアラート通知され、また毎日の心拍・呼吸・体動、睡眠状態のデータを蓄積出来るため以下の効果が期待できる。</p> <p>〈ご利用者の自立支援・QOL の向上〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①転倒・転落事故の予防、体調・生活状況の管理強化（夜間の安眠等） ②データの検証により、支援方法の見直しの一助となり、サービスを効果的・効率的に提供 ③ご家族への状況報告時に活用 <p>〈職員の負担軽減〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①訪室等の業務負担・ストレス軽減 ②事故・誤動作の減少により、見守り業務を他の業務に当てる等、業務の効率化。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 おかざき福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム かわいの里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 パラマウントベッド株式会社製	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 10月 1日	2台	30年 10月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>・見守り支援システム介護ロボットの導入により、ご利用者様の転倒リスクを予防し安心・安全に生活を送って頂くよう位置づけを行う。また、現場職員に関してもご利用者様の行動を把握し夜間勤務の業務軽減にもつながり、より安心したケア・介護を提供すると共に介護現場の魅力につなげ辞職率の低下に繋げていきます。</p> <p>導入スケジュールと致しまして、平成30年10月の導入を予定しており使用説明会の実施を行い運用を開始し職員へのフォローアップ研修を実施致します。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>・ご利用者様及びご家族様に対して、導入する見守り支援システム等に対し説明を行い同意を得た上で、使用を行います。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転落、事故やなどにかかる発生件数の減少 ・夜間の利用者様居室内への職員出勤件数減少と介護業務の負担軽減 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のベッドからの転落リスク等の軽減。 ・介護職員の見守り業務の負担軽減。 ・夜勤等の人員配置が減少する現場において、介護職員のご利用者様のリスク管理に対する職員の精神的ストレスの軽減を図り、魅力ある業務に安心して他の業務に当たれる職場環境整備の実施。 			

(注) 介護ロボットに作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 八事福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 第二八事苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
セキュリティ型ロボット		フリスパッド 低床3モーターパッド 見守りケアシステムM2付 FBR-N135 W1/W2	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2018年9月28日	3台	2018年8月28日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
【事業概要】			
平成12年3月開設の特別養護老人ホームで定員は50名。個室16部屋、二人室5部屋、四人室6部屋。平成19年4月にはユニット型30床を造設。男女比は3:7。認知症の高齢者のみならず、精神疾患の高齢者も受け入れている。			
【導入スケジュール】			
7月20日 申請、 8月28日 3台購入、 9月28日 導入運用			
【倫理面への配慮】			
上記システム使用前に、ご入居者、及びご家族代表者へ使用目的の説明を行い、同意を得る。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)			
1 ご入居者の昼夜の生活リズムを把握することにより、転倒、転落を削減する。			
2 介護職員のストレス、及び業務量を軽減する。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
1 ご入居者の安全と安眠			
2 転倒、転落の減少			
3 夜勤職員のストレス緩和			
4 介護職員の業務量を軽減			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人さわらび会)
 事業所名 (特別養護老人ホームさわらび荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		見守りライフ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成30年 10月 1日	5台	平成30年 10月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>離床予知をナースコールに連動させることができる本システムを導入することで、介護職員へ早期に知らせることができ、入居者様の転倒、ベッドからの転落によるケガを防止できる。平成30年10月1日に導入を行い、更なる追加導入を検討する。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご家族様やご本人様に当システムの使用について同意を得てから導入をする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>施設での転倒、転落による事故の発生10%軽減を目指し、また介護職員の負担を10%軽減することを目指す。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>ベッドからの起き上がり時点で介護職員に知らせることのできるシステムであるため、早期の対応が可能となり転倒、転落等による事故の防止につながる。 また、介護職員も常時見守りが必要な方への意識が軽減されるため、特に夜間時間帯における精神的、身体的な負担軽減につながる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 萬里の会)

事業所名 (特別養護老人ホーム悠々の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	3 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
事業概要 ・ご利用者様の就寝に関する情報（覚醒・睡眠・起居・離床）を把握することで、生活リズムを分析し、自立生活に向けた支援を行うとともに、介護職員の夜間等の見守り業務の負担軽減を図る。			
導入スケジュール ・交付決定後に発注・購入し、職員を対象とした機器の取り扱いに関する研修会を開催する。 ・平成 30 年 10 月 1 日より使用開始予定。 ・導入後はご利用者様の経過観察や職員の意見を聞くなどの情報収集をし、使用効果の評価を行い、フォローアップ研修を実施する。			
【倫理面への配慮】			
・ご利用者様やそのご家族様に対し、機器の使用にあたり、その目的や効果などについての説明を行い、同意を得た上で使用する。また、取得した情報については厳重に管理する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）			
・ベッドからの転落などを含め、事故・ヒヤリハット件数を減少させる。 ・特に夜間の睡眠状況を把握し、見守り業務を効率化することで介護職員の負担を軽減する。 ・使用ご利用者様の睡眠と覚醒のリズムを把握し、ケアの質の向上を図る。 ・夜間の睡眠・覚醒状況を把握し、適切な排泄介助を行うことでストレスなく睡眠することが出来る。			
【介護ロボット導入により期待される効果等】			
・夜間及び早朝の時間帯は人員配置が少ない為、介護職員がご利用者様個々のリスク管理を行う負担は大きい。職員の精神的、身体的ストレスを軽減し安心できる職場環境が整備できる。 ・ご利用者様のベッドからの転落によるケガを予防することができる。 ・使用ご利用者様の睡眠の質を改善することができる。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（株式会社ジェネラス）

事業所名（看護小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ）

サービス種別（看護小規模多機能型居宅介護）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠り SCAN	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2018年10月1日	1台	2018年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

（１）事業概要

○泊まりサービスの利用者様の就寝に関する情報（覚醒・睡眠・起居・離床）を把握することで、利用者様個々に応じた生活リズムを分析し、自立に向けた支援を行うとともに、介護スタッフの夜間等の見守り業務の負担軽減を図ること。

（２）導入スケジュール

○交付決定後、発注・導入及び関連工事を行い、スタッフを対象とした機器使用に関する研修会を行う。

○2018年10月初旬より運用を開始。

○利用者様の反応やスタッフの意見等を踏まえ、機器使用に関するフォローアップ研修を実施。

【倫理面への配慮】

○利用者様やその家族に対し、上記機器の使用にあたり、その目的や効果等に関する説明を行い、同意を得た上で使用する。また、取得情報については厳重に管理する。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処）

（１）特に夜間の利用者様居室内へのスタッフの出動件数減少等、介護業務の負担軽減。

（２）ベッドからの転落等、事故やヒヤリ・ハットにかかる発生件数の減少。

※現在、夜間はスタッフによる巡回に加え、転落リスクの高い利用者様を中心に「徘徊センサー」を使用している。しかしながら、ベッドからの転落等の事象が少なからず発生している。
眠り SCAN 導入によって、就寝時（夜間）の事故やヒヤリ・ハットの件数0を目指す。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

（１）泊まりサービス利用者様の就寝時の転倒・転落事故や徘徊等の予防に寄与する。

⇒事故等による怪我のリスクを未然に回避できる。

（２）利用者様個々に寄り添える介護を充実させ、生活リズム改善の一助となる。

⇒自立した生活を安全に続けていくための機能向上や回復の効果が発揮される。

（３）既存の設備（徘徊センサー等）と併せ、利用者様の状況を集中管理することによるスタッフの夜間の見守り業務の効率化を図る。

⇒利用者様のリスクに対するスタッフの心身のストレスの改善につながる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム設楽苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム岡崎苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム一宮苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム瀬戸苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールがなる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム佐屋苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム小牧苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム大府苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム東郷苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム西尾苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	4	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>離床CATCHⅢ内蔵のベッド「エスパシア」を導入し、夜間帯の入居者の方の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請 平成30年9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用入居者ご本人及びご家族にシステム使用について説明と同意をいただいた上で行う。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>①転落事故の減少 ②介護員の身体的・心理的負担の減少</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>①入所者の状態に応じたセンサー設定(起き上がり・端座位・離床)により、より正確なナースコール設定が可能となるため、転倒、転落事故が減少を期待する。 ②利用者の方への対応が必要なときにコールになる仕組みであるため、職員の身体的・心理的負担の減少を期待する。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。